



## 生命科学 セミナー

**演題：ATP を通して生命現象を眺める**

**演者：今村博臣博士 京都大学 白眉センター 准教授**

**要旨：**以前は、ATP は細胞の内部で常に一定量存在するという考え方が支配的でした。ところが、最近になって ATP が細胞内のエネルギーとしての働きだけでなく、細胞内外で情報を伝えるシグナルとしての働いているらしいことがわかってきました。このことは、細胞の内外で ATP 量がダイナミックに変化していることを意味しています。ところが、生きたままの生物の内部で ATP がどのように分布し、どのように変化するかはこれまでほとんどわかっていませんでした。本セミナーでは、ATP の働きを概観した後、演者らが開発した細胞内 ATP 可視化技術とそれを用いた研究をご紹介します。

**日時： 2012年 6月29日(金)**

**午前11時～12時**

**場所： 15号館1階 15102セミナー室**

**世話人： 総合生命科学部 生命システム学科  
横山 謙 (075-705-3043)**

**【共催】 京都産業大学 総合生命科学部  
科学研究費助成事業 基盤研究(B)  
「構造・機能解析による回転分子モーターの起源の解明」**